

計画事業番号	00833	事務事業名	広報紙発行业務	担当部署	企画財政部政策広報課	電話	3411
--------	-------	-------	---------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市広報紙発行規則			
事務事業開始年度	昭和9年		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 9 節) 情報公開・広報広聴の充実	
	(施策 4) 広報広聴活動の充実	
2 対象	市民及び市内の事業所・企業	
3 目的と内容	市の施策や情報、市内の出来事や市民の活動を市民に分かりやすく伝えるため、広報「北広島」を発行し、市内の概ね全世帯に配布する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	①新規施策や予算などを伝える「特集」の編集。 ②生活関連情報のほか、事業案内などを伝える「お知らせ」の編集。 ③まちの話題を紹介する「北広ひとつまみ」などの編集。 ④広報紙に対して親近感を持ってもらうため、できる限り市民のインタビューなどを掲載。 ⑤新聞折込による配布のほか、新聞未購読世帯への戸別配送を実施。 ⑥平成21年4月から広報紙編集業務委託を実施。 ⑦有料広告の掲載による財源の確保。
	29年度	昨年度と同様の事業を実施。 昨年度に実施した広報アンケート調査の結果を受け、紙面レイアウト案の検討を行う。 平成29年度から3カ年の編集業務委託について委託内容を拡大し、公募型プロポーザル方式で業者選考を実施する。 平成29年4月1日号広報紙発行部数23,900部

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
広報北広島の発行 1日号(毎月1日)、15日号(毎月15日)を発行	1日号(毎月1日)296P 15日号(毎月15日)48P 合計344P	広報北広島の発行	広報北広島の発行	広報北広島の発行

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	今後も市民に対する市政の周知、情報伝達方法の基本となる手段として活用していく。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			31,837		34,249		35,108		35,601	
事業額	直接事業費	国支出金	260		270		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	1,716		1,375		1,457		1,457	
		一般財源	29,861		32,604		33,651		34,144	
	① 合計	31,837		34,249		35,108		35,601		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	11,760	0	11,760	0	11,760	0	11,760	0	
総事業費①+④			43,597		46,009		46,868		47,361	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①年間発行部数	部	24	24	24	24
			実績値			
	②年間総ページ数	ページ	358	358	358	358
			実績値			
③	目標値					
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	① 市民一人当たりの負担額	円/人	700	700	700	700
	【(総事業費-特財等)/市内総人口】		705.9			
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市政の周知に関する手段であり、税金を使うことは妥当と考える。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	毎月2回発行し、市民に配布してさまざまな情報伝えており、計画どおりに成果があがっているものとする。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	より市民が見やすく、興味を持てる、市民目線の紙面づくりに向けて努力することにより、成果が向上する可能性がある。具体的には、市民の意見を聴きながら、また、他市の紙面づくりを参考に、よりよい紙面を目指すこととなる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	市民目線で記事を作成していくという方針のため、現在NPOに一定の紙面を委託しているほか、印刷は障がい者を雇用する北海道リハビリに委託しており、現時点では市の考え方を優先し、経済性のみで委託先を判断していない状況である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--